

本ソフトウェアは技術的制限手段を違法に回避するものではありません。

このソフトウェアは、技術的制限手段が施された著作物のリッピング等、改正不正競争防止法で定められた違法行為に抵触するものではありません。

AsProcessTitleGet.exe (agency SAKAE プロセス タイトル ゲット 以下、アプリ) はフリーウェア(無料)です。

著作権は放棄していません。 agency SAKAE が著作権を保有しています。

使用したことによって生じた不具合には一切責任を負いません。 **自己責任で使用してください。**

私が使っていておかしいところは気づいたら直していますが、隠れているバグもあると思います。

バグは直すようにしたいと思っていますが、技量不足で直せないものもあるかと思っています。 ご了承ください。

動作不具合は件名を **AsProcessTitleGet Ver 1.79.02** にして次のメールアドレスに送ってください。

agency.sakae@gmail.com

私の動作環境でも不具合が再現できて、修正できる内容であれば改訂版に差し替えます。

アプリの画像とマニュアルのフォーム画像が異なる場合があります。 書かれている内容も最新版アプリと異なることがあります。

元は ProcessTitleGet.exe だったのを 一般的すぎるので先頭に As (agency SAKAE)を付けました。

そのためこのマニュアルやフォーム左上のタイトルに As が付いていないのがあるかもです。

マニュアルで使っている **¥** (円マーク) がフォントによって \ (バックスラッシュ) になっていることがあります。

インストーラーは有りません。 AsProcessTitleGet.exe を直接(またはショートカットで)起動してください。

インストールをしていないのでアンインストールも不要です。 アプリをダウンロードしたフォルダー・ファイルを削除するだけです。

『 コントロールパネル → プログラムと機能 → プログラムのアンインストールまたは変更 』の一覧にも載りません。

レジストリーは使っていませんが My.Setting という命令は使っています。

環境変数 %AppData% の場所に agency_SAKAE のフォルダーが作られて、その中にサブフォルダーが作られる場合があります。

【例】 C:\Users\sakae\AppData\Roaming\agency_SAKAE\AsProcessTitleGet.exe_Url_**i45ix4004uvcwn2utlgeip4taw5lihkc**

この部分は変わります。

動作確認は Windows 10 Pro で行っていますが環境によっては動かないこともあると思います。

Windows 10 Home / 11 では動作確認をしていません。

アプリは Microsoft Visual Studio 2019 , 2022 の Visual Basic で作成しました。

フォーム、ボタンなど全て英語になってます。 日本語にしたかったのですが 2バイト文字 では文字化けをすることがあるので英語(1バイト文字)にしました。

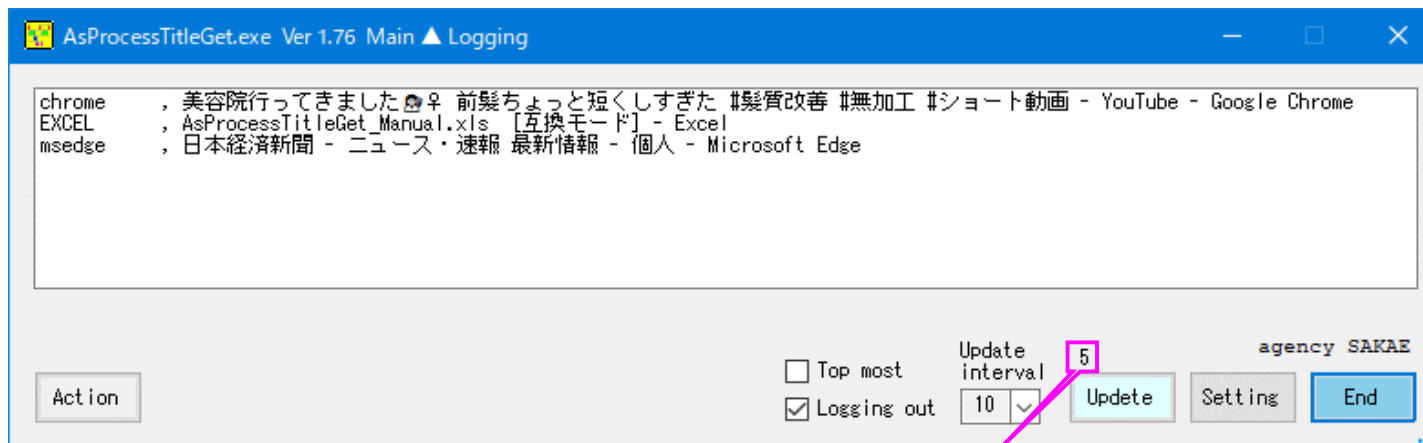
日本語から英語にはインターネットの翻訳サイトを使いました。 おかしな英語になっているかも知れませんがご勘弁ください。

最新版 と差し替えるときは現在の AsProcessTitleGet.Setting.Inport.csv を**別の場所へ保存**しておくことをお勧めします。

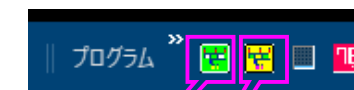
差し替え後に**設定データが初期化**されることがあるので、その時に保存データを使ってください。

変更履歴 は最終ページにあります。

AsProcessTitleGet.exe (agency SAKAE プロセス タイトル ゲット 以下、アプリ) の起動画面は次の通りです。



タスクバーには本アプリは表示されません。
タスクトレイに表示されます。



Main

Top most フォームを最前面に表示します。

自動でプロセス取得を開始するまでの秒数

Update interval が 1秒 , 3秒のときは非表示。

Logging out ログアウトファイルをデスクトップに出力します。Action のボタンが有効になります。

Update interval プロセスを取得する間隔を Off , 1 , 5 , 10 (既定) , 30 , 60 から選択します Action
Off では自動取得をしません。Update ボタンをクリックしてください。
設定値 Every5minutes が True のときは 5分毎にファイル出力します。



ロギングをしていません。

Update プロセスを取得します。



ロギングをしています。
Action は未指定です。

End アプリを終了します。



ロギングをしています。
Action が指定されてます。

最初のフォームは 横 480 × 縦 240 ドットで表示されます。

プロセスのタイトル数、文字数によって最大 800 x 600 ドットまで自動でサイズを大きくします。

一旦大きくなったフォームは小さくなることはありません。手で小さくしてください。

フォームサイズを固定したい場合は Setting で FormMainAutoWidth と FormMainAutoHeight を False に設定してください。

Action のフォームは次のとおりです。

昨日・今日の入力忘れも後から追加できます。

何も選択されていないときに 手動入力 ができます。

Manual Input をクリックした後

何か アクションボタン をクリックしてください。

右のフォームのように テンキー が表示されます。

昨日の ログファイル がログフォルダーに有るときだけ選択できます。

既定値は Today(今日)です。

昨日より古いログファイルは選択・追加できません。

開始時刻 と 終了時刻 を キーボタンで入力してください。

時刻は 4桁です。

午後 3時 45分なら 1545 です。

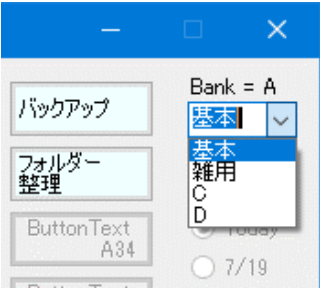
アクション を登録したままアプリを終了しようとする左のダイアログが表示されます。
はい(Y) または いいえ(N) をクリックしてください。

最小化されている状態でシャットダウンなどで強制的に終了されてしまう場合は 無効 になります。

同時刻の場合は End のテキストボックスをダブルクリックすれば入力できます。

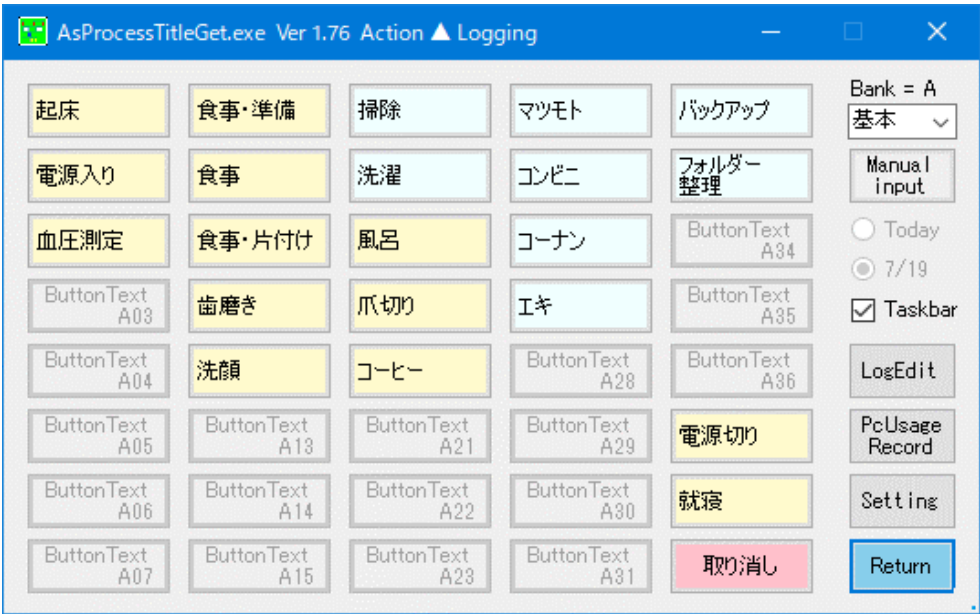
バンク切り替え について。

アクションボタンは 40個です。 4つのバンクを切り替えれば 160個のアクションを登録できます。

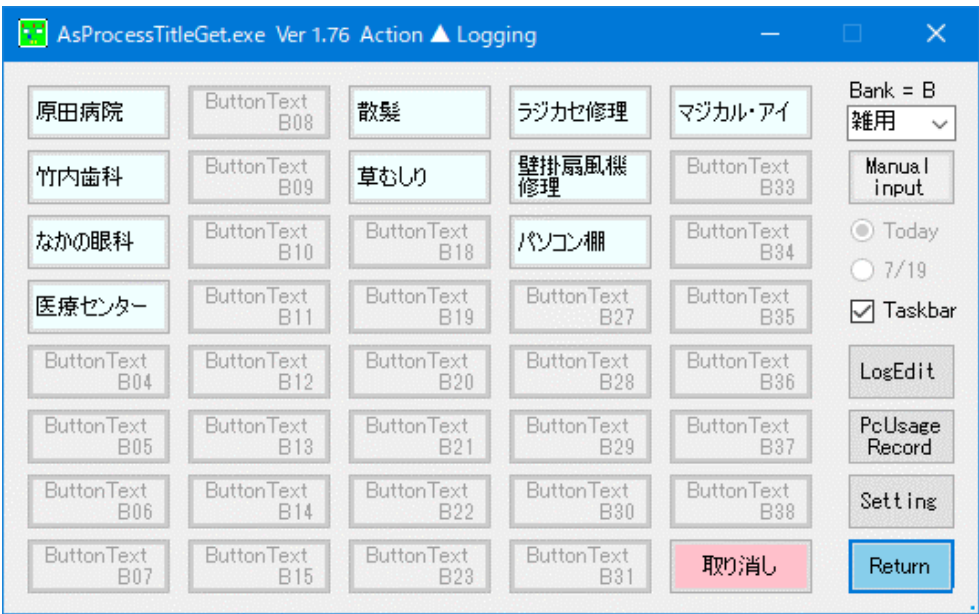


A , B , C , D の 4 バンクあります。
コンボボックスで選択してください。
アプリ起動時は必ず A になります。
名前は Setting の BankName? で設定できます。

BankA:基本 の例。



BankB:雑用 の例。



Setting について。

ActionPrifix が指定できます。

これを指定するとフォームタイトルとロギングデータにボタン文字の前に付加されます。

既定値は '● ' (黒丸と半角スペース 1個)です。

後で説明する Action フォームのボタン文字を指定します。

ButtonText00 ~ ButtonText38 の 39個です。

文字の後ろに , (カンマ)に続けて秒数を入れるとボタンをその秒数で 取り消し ます。

取得したプロセスタイトルで表示・ロギングから除外したいのを

ExcludeTitle0 ~ ExcludeTitle9 の 10個指定できます。

比較は全体ではなく、先頭一致で入力された文字数分だけです。

プロセスタイトルだけで判定しています。

例えば 設定 は次の 2つのプロセス名がある場合があります。

SystemSettings

ApplicationFrameHost

この場合両方とも除外されます。

ロギング出力フォルダー LoggingPathName もこのフォームで指定できます。

%% で囲んで環境変数も指定できます。

LoggingPrifix が指定できます。

Logging out が有効でアクションが無いときフォームタイトルに付加されます。

既定値は '▲ ' (黒三角と半角スペース 1個)です。

その他	
ActionNumber	
ActionPrifix	●
ButtonText00	起床,5
ButtonText01	起床,5
ButtonText02	血圧測定,180
ButtonText03	食事・準備
ButtonText04	食事
ButtonText05	食事・片付け
ButtonText06	歯磨き,300
ButtonText07	洗顔,60

その他	
ExcludeTitle0	設定
ExcludeTitle1	Microsoft Text Input Applica
ExcludeTitle2	タスク マネージャー
ExcludeTitle3	
ExcludeTitle4	
ExcludeTitle5	
ExcludeTitle6	
ExcludeTitle7	

その他	
IntervalTime	10
LoggingOut	True
LoggingPathName	XuserProfile\Desktop
LoggingPrifix	▲
TopMost	False

LoggingPathName

Export Edit Inport Save Return End

変更をしたら Save をクリックしてください。

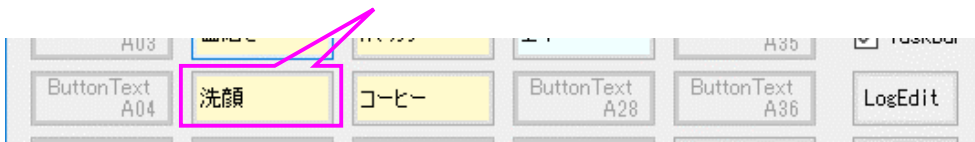
その後は ReStart をクリックしてください。

Export Edit Inport Save Return ReStart

ボタン文字に 取り消し秒数 を入れた場合の表示について。



1秒毎に交互表示。



アクション を入力したボタンは 薄い水色 です。

取り消し秒数を入れたボタンは 薄い黄色 です。

ボタンをクリックしたときは1秒毎に アクション と 残り秒数 を交互に表示します。

同じボタンをクリックすると カウント をリセットして計測をやり直します。

カウントダウン中に他の アクション をクリックするとキャンセルされます。

指定された時間が経つと元に戻ります。

途中でアプリを終了した場合はキャンセルされます。

ロギングファイル の修正について。

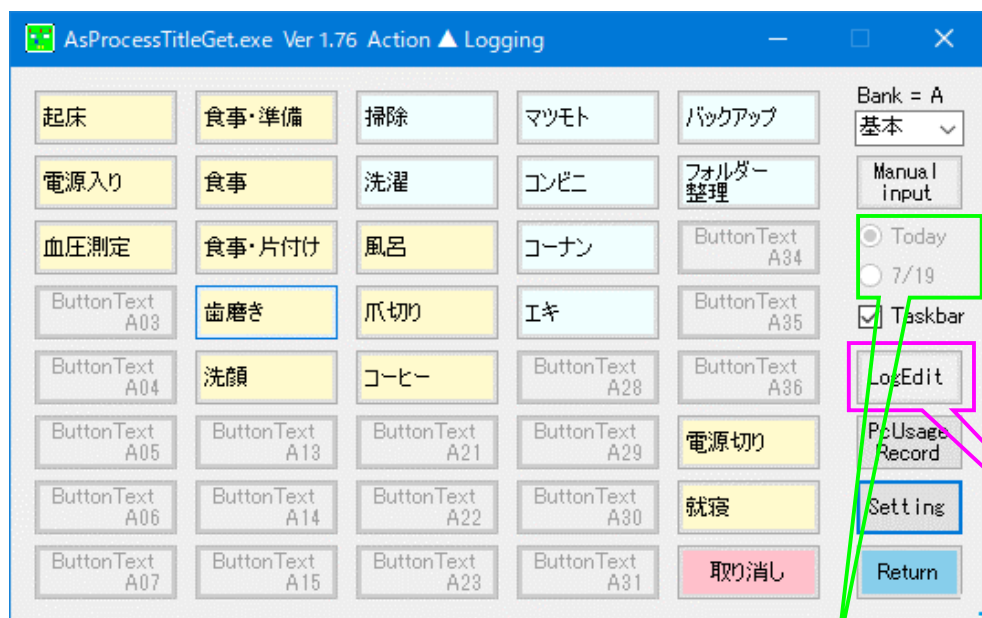
ロギングファイルには Action ボタンのクリック直後に出力されます。(Manual Input の時は出力しません。)

間違った！ 取り消したい！ って時のためにロギングファイルの編集ができます。

LogEdit のボタンをクリックしたら メモ帳(notepad.exe)が起動して編集できるようになります。

Visual Studio Code がインストールされていると優先して起動されます。

編集中はロギングが中断します。



グレイアウトのときはクリックできません。
メモ帳(notepad.exe)が見つからない。
%SystemRoot%\System32\notepad.exe
VSCode(code.exe)が見つからない。
%ProgramW6432%\Microsoft VS Code\code.exe

LogEdit の対象は通常 Today です。

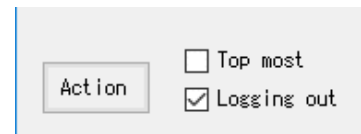
昨日にしたい場合は次の操作をしてください。

Manual input のボタンをクリック ...
昨日(Today の下)のラジオボタンをクリック ...
LogEdit のボタンをクリック。

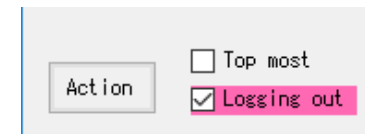
終了したら Today のラジオボタンをクリックしてから
取り消し のボタンをクリックしてください。

編集できます。

編集中は共有違反になるので ロギング出力 は抑制されます。

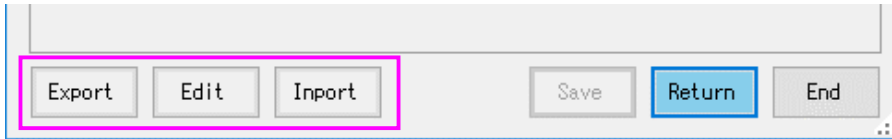


通常

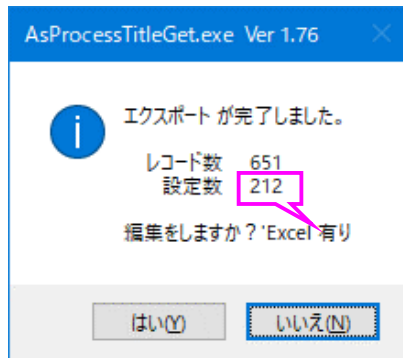


抑制中

Export , Edit , Inport ボタンの説明。



Export 現在の設定値を次の csv ファイルに出力します。
 AsProcessTitleGet.Setting.Export.csv
 正常に出力できると下のダイアログが表示されます。

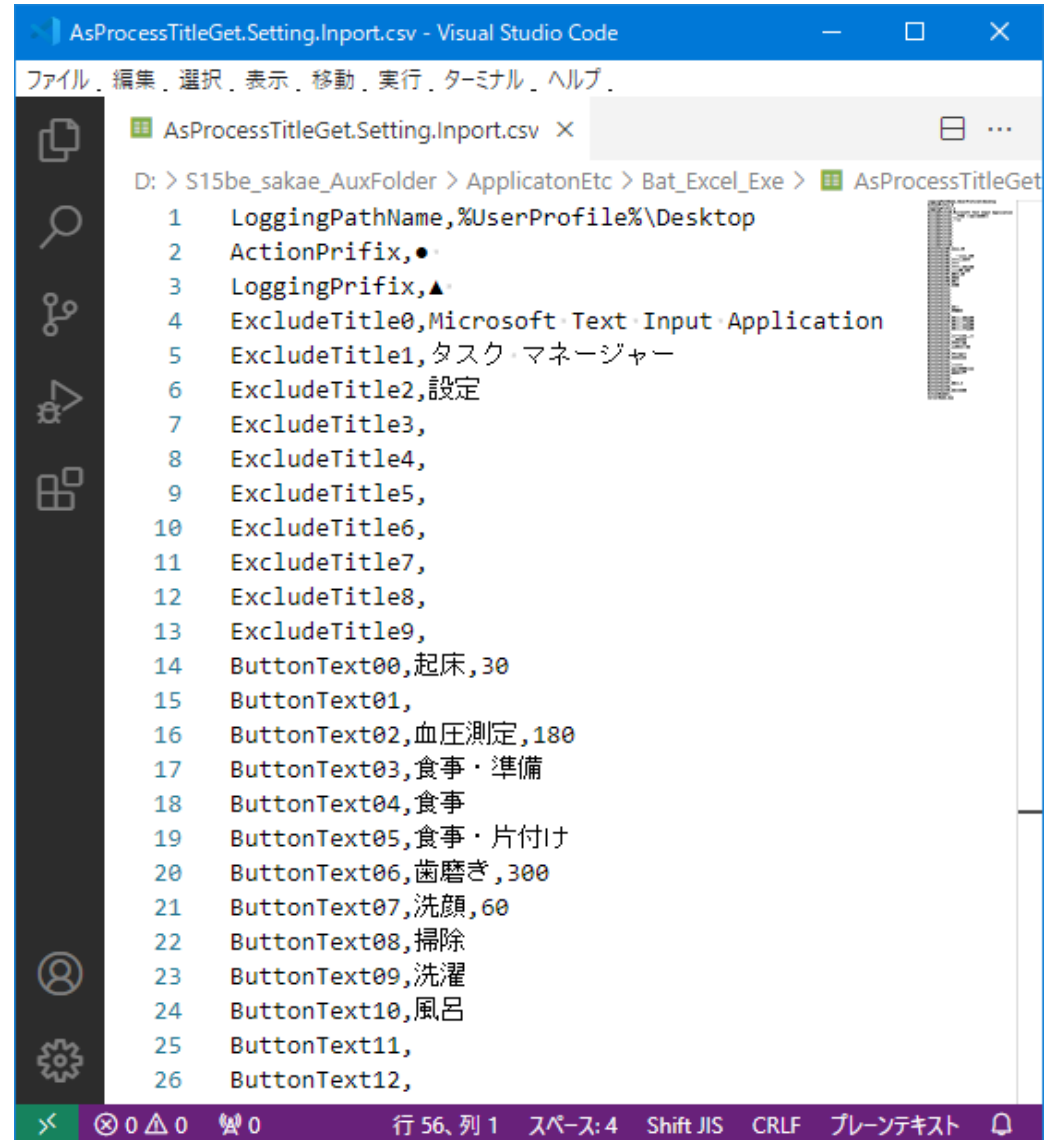


Excel がインストールされていると次のファイルが開きます。
 AsProcessTitleGet.Setting.Excel.xls

Edit 編集するために設定ファイルを開きます。

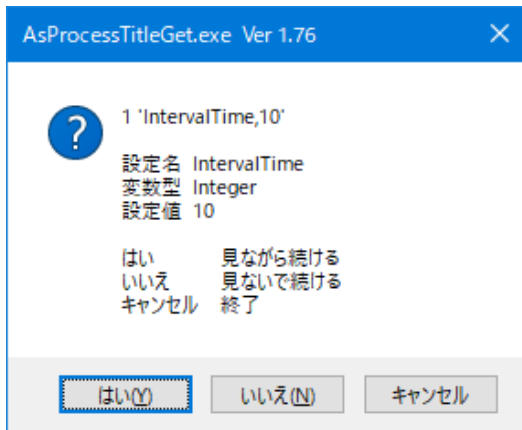
Inport 次の csv ファイルを読み込みます。
 AsProcessTitleGet.Setting.Inport.csv
 次のページでもう少し説明します。

Inport ファイルの例



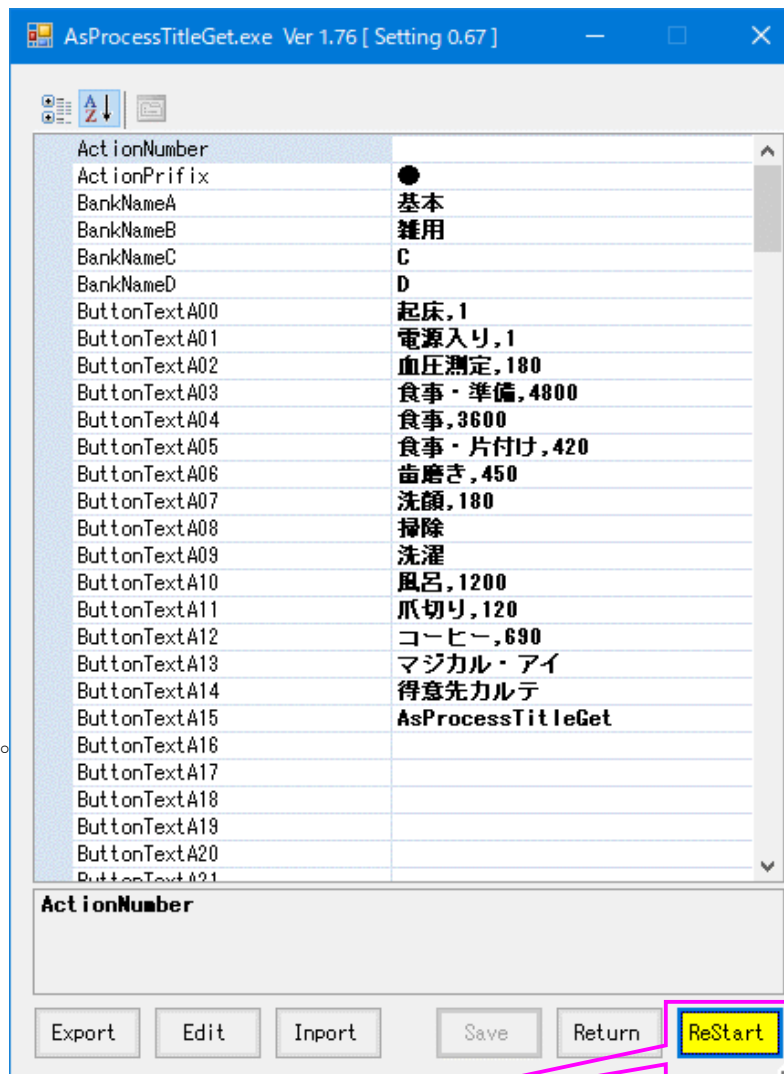
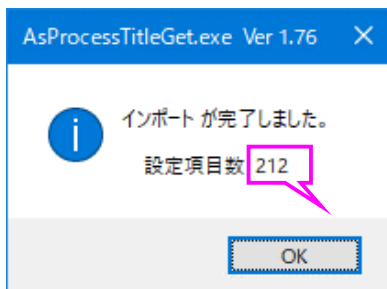
Inport ボタンの説明。

Inport ボタンをクリックすると次のダイアログが表示されます。



一つずつ見るのなら はい をクリックします。
見なくても良いのなら いいえ をクリックします。

Inport が終わると次のダイアログが表示されます。



データ数に誤りが無ければ ReStart ボタンをクリックしてください。

関連ファイルとして Excel ファイルの AsProcessTitleGet.Setting.Excel.xls が有ります。

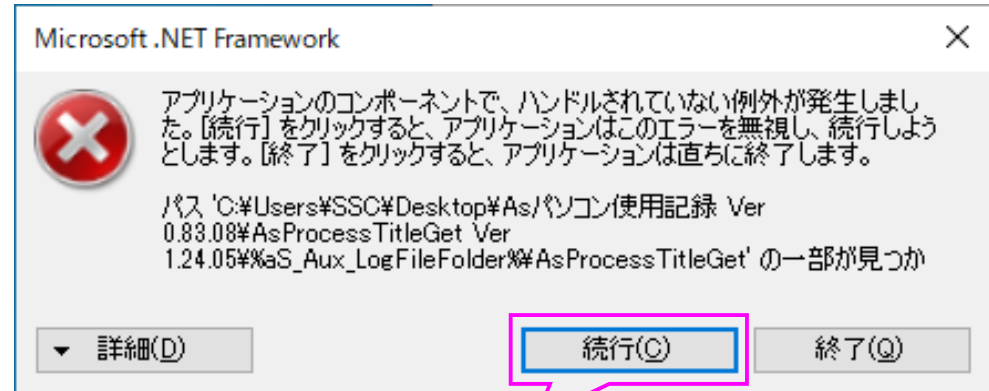
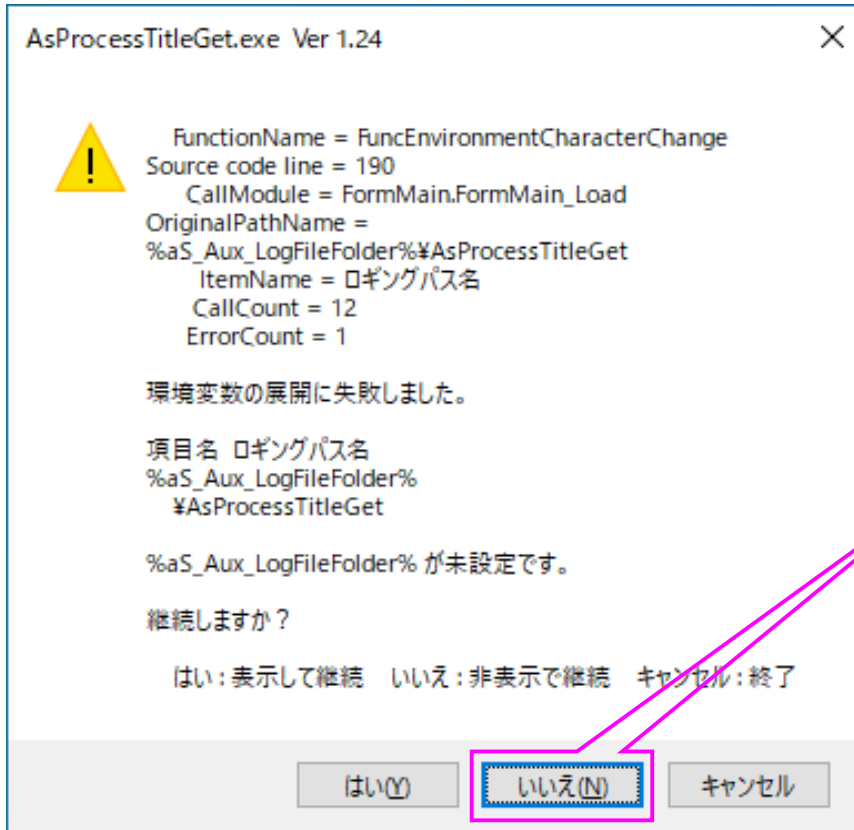
実行しているアプリ(AsProcessTitleGet.exe) と同じフォルダーに入れておいてください。

次が Export した表形式の Excel ファイルの例です。

	A	B	C	D	E	F	L	M	N	O	P	
1	No.	ButtonTextA		No	ButtonTextB		No.	ExcludeTitle			SettingName	SettingValue
2	00	起床,1		00	原田病院		0	Microsoft Text Input Application			ActionNumber	
3	01	電源入り,1		01	竹内歯科		1	タスク マネージャー			ActionPrifix	●
4	02	血圧測定,180		02	なかの眼科		2	設定			BankNameA	基本
5	03			03	医療センター		3	電卓			BankNameB	雑用
6	04			04			4	Realtek Audio Console			BankNameC	C
7	05			05			5				BankNameD	D
8	06			06			6				CursorName	
9	07			07			7				Every5minutes	
10	08	食事・準備,4800		08			8				ExitProgramFileName	AsWinC
11	09	食事,3600		09			9				ExitProgramParameter	
12	10	食事・片付け,600		10							ExitProgramPathName	%s_A
13	11	歯磨き,450		11							ExitProgramRun	False
14	12	洗顔,180		12							IntervalTime	
15	13			13							LoggingOut	True
16	14			14							LoggingPathName	
17	15			15							LoggingPrifix	▲
18	16	掃除		16	散髪						PcUsageRecordFileName	Asパン
19	17	洗濯		17	草むしり						PcUsageRecordPathName	S:\S1
20	18	風呂,1200		18							PowerOnTimeLog	
21	19	爪切り,120		19							PowerOnTimeText	電源入
22	20	コーヒー,690		20							ProcessTitleLength	
23	21			21							StartUpCount	

Inport の取り込みエラーについて。

環境変数が設定されていない、フォルダーが無い、ファイルが無い などのエラーが有ると次のようなダイアログが表示されます。



いいえ をクリックして 続行 をクリックしてください。

エラーがあるとデスクトップにエラーログが次の名前で出力されます。

AsProcessTitleGet LogErrorOut PC名 ユーザー名 日付 時刻.txt
エラーログは次のような内容です。 それを見て直してください。

=====
環境変数の展開に失敗しました。

項目名 ログインパス名
%aS_Aux_LogFileFolder%
 \AsProcessTitleGet

%aS_Aux_LogFileFolder% が未設定です。
=====

起動パラメータ。

/F , /FormPositionReset フォーム表示位置をリセットします。 原点からフォーム左上を 右 300ドット、下 300ドット の位置にします。

/? , /H , /Help 簡易説明を表示します。

/Hide 起動して 3秒後にフォームを隠します。

d:\Path1\Path2\... 先頭から 2,3文字が :\ のときはロギングファイル出力のフォルダー名とします。

 【例】 D:\S15be_LogBox\AsProcessTitleGet
 未指定時はデスクトップになります。
Setting のフォームからも入力できます。
 この設定値は記録します。
 既定値に戻すには Setting で LoggingPathName に
 %UserProfile%\Desktop
を入力してください。

パソコンの 電源入り 時刻のロギング出力について。

アクションボタンに 電源入り を登録して、クリックするとロギング出力できますが、次のようにすると自動で出力します。

Setting で次の設定をしてください。

PowerOnTimeLog	True:出力する	False:出力しない
PowerOnTimeText	出力する文字	【例】 電源入り

アプリを起動したとき記憶した 起動日付・起動時間 と異なっていればロギング出力します。
ただし 高速スタートアップを有効にする がチェックされていると 電源入り が判断できない場合があります。

パソコンの 電源切り 時刻のロギング出力について。

正確でなくても良い場合は アクションボタンに 電源切り を登録して、クリックするとロギング出力できます。

アプリ終了時に別アプリケーションの起動について。

メインフォームの End ボタンを Ctrl キーを押しながらクリックすると Setting で設定したプログラムを起動してから終了します。
End ボタンを 右クリック(マウスアップ) すれば 3秒以内は Ctrl キーを押した状態と同じになります。

ExitProgramPathName	終了プログラムのパス	【例】 D:\S15be_sakae_AuxFolder\ApplicatonEtc\Bat_Excel_Exe
ExitProgramFileName	// のファイル名	【例】 AsWindowsExit.exe
ExitProgramParameter	// のパラメータ	

アプリが起動していない状態でもアクションのロギング出力ができる AsLoggingPseudoOut.exe を同梱しています。

ロギングファイル のデータ数(行数)の削減について。

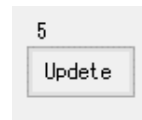
通常 10秒毎にロギング出力をすると、1日で約 2万行くらいになります。（パソコンの使い方によって変わります。）

あとで説明する パソコン使用記録 など で 5分毎でしか集計しないのであれば、処理に時間がかかります。

データ数を減らすため設定値 Every5minutes が有ります。

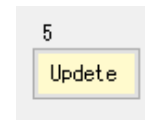
Every5minutes は既定値が True になってます。 設定によって Update のボタン色が変わります。

Logging out = False



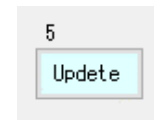
グレー

Logging out = True
Every5minutes = False



薄い水色

Logging out = True
Every5minutes = True



薄い黄色

Every5minutes が False のときは今まで通り Update Interval の時間通りに ロギング出力 をします。

True のときは 5分間に 1回だけロギング出力するようにします。

アプリの起動直後および時刻の 分:秒 が 0:00 , 5:00 のときに 出力記録 をクリアします。

ロギングデータ を出力する前に 出力記録 に保存されているか調べます。

保存されていたら何もしません。

保存されていないなら 出力記録 に保存してから ロギング出力 をします。

True でも False でも Update をクリックすると 表示更新 または ロギング出力 をします。

ロギングファイル の ProcessTitle (プロセス タイトル)の文字数について。

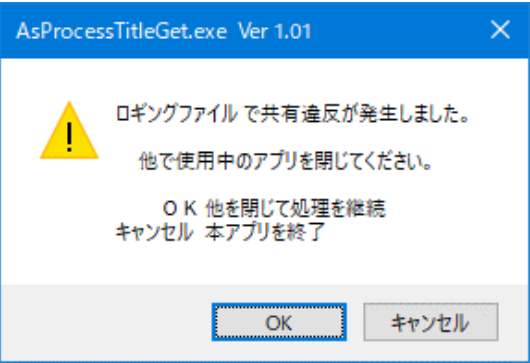
Setting で ProcessTitleLength に数値を入れると文字数を制限できます。

既定値は 0 で制限をかけません。

32 以下を指定しても最低 32 文字にします。

ロギング中の共有違反 について。

ロギングファイル に共有違反が発生すると次のダイアログが表示されます。

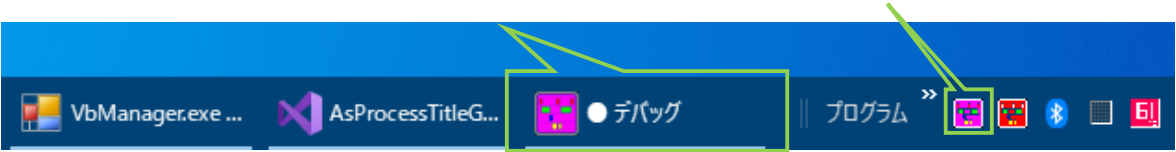


- OK 共有違反のアプリケーションを閉じてから OK をクリックしてください。
- キャンセル 本アプリを終了します。
- どちらかをクリックするまで処理は中断します。

アクション の Taskbar への表示について。



アクション の選択中には タスクトレイ のアイコン色を変えていますが、それだけでは判りにくく選択中のままになることがあります。そのため Taskbar にも表示されるようにする チェックボックス です。

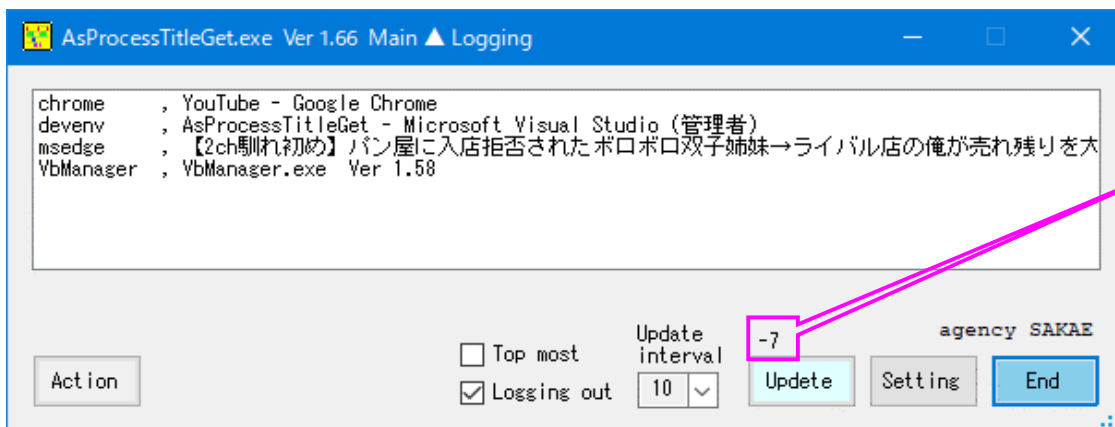


アプリ起動直後のインターバル について。

電源投入直後にアプリを起動している場合、インターバルが 10秒では短時間のプロセス収集を逃すことがあります。

このため電源投入 5分以内にアプリを起動した場合は指定時間だけ 1秒のインターバルでロギングします。

Setting で StartUpCount に指定時間(秒数)を負数で入力してください。秒数の制限はありませんが -30 ～ -180 くらいかな？ と思います。



既定値は -30 です。

指定されていると残り時間が表示されます。

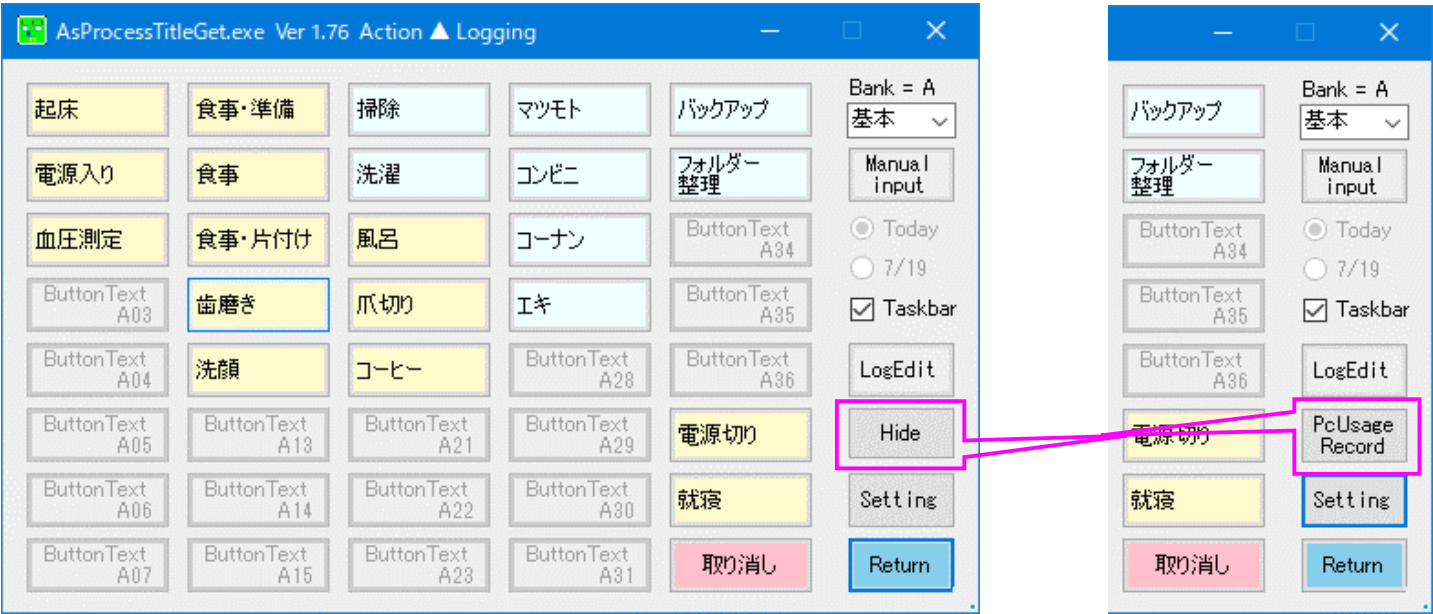
本アプリの ログिंगファイル の応用例として パソコン使用記録.xlsm があります。

同梱していますので、よろしければお使いください。

	A	B	C	D	E	F	Z
1	保存 & 終了	狭幅=0.3	広幅=1.0	シートクリア	AllTime	8 - 17	
2	日付	区分コード	プロセス名	項目名	時間 Hr	初回時刻	
3							
108	2024/06/27 Thu	0004	AsProcess	電源切り	11.17	0:00	
109	2024/06/27 Thu	0005	AsProcess	電源入り	12.83	9:14	
110	2024/06/27 Thu	0006	AsProcess	就寝	7.58	0:00	
111	2024/06/27 Thu	0007	AsProcess	起床	16.42	7:37	
112	2024/06/27 Thu	4032	AsProcess	血圧測定	0.17	7:46	
113	2024/06/27 Thu	4041	AsProcess	食事・準備	1.83	7:55	
114	2024/06/27 Thu	5012	AsStartup	AsStartupLoader	0.17	9:14	
115	2024/06/27 Thu	9001	msedge	#msedge other#	11.08	9:14	

B	C	D	E	F	Z
狭幅=0.3	広幅=1.0	シートクリア	AllTime	8 - 17	
区分コード	プロセス名	項目名	時間 Hr	初回時刻	
0004	AsProcess	電源切り	11.17	0:00	
0005	AsProcess	電源入り	12.83	9:14	
0006	AsProcess	就寝	7.58	0:00	
0007	AsProcess	起床	16.42	7:37	
4032	AsProcess	血圧測定	0.17	7:46	
4041	AsProcess	食事・準備	1.83	7:55	
5012	AsStartup	AsStartupLoader	0.17	9:14	
9001	msedge	#msedge other#	11.08	9:14	
5009	Code	AsLoggingPseudoOut	0.33	9:16	
4040	AsProcess	食事	1.33	9:17	
9002	chrome	#chrome other#	8.17	9:23	
2001	EXCEL	Asパソコン使用記録	1.50	9:52	

パソコン使用記録.xlsm を使うのなら Hide のボタンを PcUsageRecord に変更して パソコン使用記録.xlsm が起動しやすくなります。



変更するのは Setting で次の項目を設定してください。

項目名	設定名	設定値【例】
パス名	PcUsageRecordPathName	S:\S15be_Sakae\S15be_Data\Asパソコン使用記録
ファイル名	PcUsageRecordFileName	Asパソコン使用記録.xlsm

設定したパス・ファイルが存在し Excel がインストールされていれば PcUsageRecord に変わります。
クリックしたら Excel が起動しファイルが開きます。

関連ファイル

\AsProcessTitleGet Ver x.xx.yy	フォルダー名は何でも良い。
AsProcessTitleGet.exe	実行ファイル。
AsProcessTitleGet_Manual.pdf	操作説明書（このファイル）。
ロギングファイル	既定ではデスクトップに出力されます。
【例】AsProcessTitleGet LoggingOut S15be sakae 2024_02_28 Wed.csv	
コンピューター名 ユーザー名 年月日 曜日	
AsProcessTitleGet.exe.config	設定ファイル。
AsProcessTitleGet.Setting.Excel.xls	My.Setting の Export の Excel。
AsProcessTitleGet.Setting.Export.csv	設定をアプリから csv に Export したファイル。
AsProcessTitleGet.Setting.Inport.csv	設定をアプリに csv で Inport するファイル。
赤文字のファイルは Setting → Export をしたときに作成されます。	
┌	
└─\AsLoggingPseudoOut Ver x.xx.yy	本アプリが起動していない状態でもアクションのロギング出力をするアプリケーション。
└─\Asパソコン使用記録 Ver x.xx.yy	本アプリの ロギングファイル を応用した Excel ファイル。

変更履歴(主な項目)。

作成開始	Ver 0.00	2016-09-03	Sat		
	Ver 1.09	2024-04-16	Tue	Manual Input の 前日 の 日付セパレータ のバグフィックス。 誤 "2024_04_17 Wed 12:25:50.425,"chrome",".... 正 "2024/04/17 Wed 12:25:50.425,"chrome","....	修正
	Ver 1.26	2024-05-02	Thu	Manual Input の 分 に余分なスペースのバグフィックス。 誤 "2024/05/02 Thu 12: 34" 正 "2024/05/02 Thu 12:35"	修正
第3回掲載	Ver 1.30	2024-05-12	Sun	Every5minutes を追加。	新規
	Ver 1.45	2024-05-24	Fri	Hide の代わりに PcUsageRecord の起動 を追加。	新規
	Ver 1.57	2024-06-08	Sat	手動入力 で入力している時刻が出力されるのを修正。	修正
	Ver 1.58k	2024-06-10	Mon	Power On の ロギング出力 を追加。	新規
第4回掲載	Ver 1.59	2024-06-10	Mon	Ctrl + の ToolTip を追加。	新規
	Ver 1.62	2024-06-26	Wed	多重起動 のチェックを追加。	新規
	Ver 1.63	2024-07-03	Wed	Ctrl + ButtonLogEdit で Log の アクション のみ表示 を追加。	変更
	Ver 1.64	2024-07-03	Wed	FormMain の Hide ボタン を削除。	変更
	Ver 1.69	2024-07-09	Tue	FormSetting の Export のバグ修正。	修正
	Ver 1.72	2024-07-11	Thu	StartUpCount を追加。	新規
	Ver 1.73	2024-07-11	Thu	NotifyIconMain.Visible = False のエラー回避 を追加。	修正
	Ver 1.77	2024-07-21	Sun	アクションの バンク切り替え を追加。	新規
最新版	Ver 1.79	2024-07-25	Thu	LoggingOut を見直し。	修正

―― 以上 ―――